

第3期医療費適正化計画 PDCA管理様式

1. 目標に関する評価

(1) 住民の健康の保持の推進に関する目標

① 特定健康診査の実施率に関する数値目標

○ 栃木県の目標 《 特定健康診査実施率 》

2017年度 (計画の足下値)	第3期計画期間					
	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度 (目標値)
51.4%	—	—	—	—	—	70%
2018年度の 取組・課題	【取組】 県保険者協議会と連携し、特定健康診査等の実施率向上に向けた取組状況を市町保険者に情報提供 特定健康診査等の県民への普及啓発や特定健康診査従事者等に対する各種研修の実施 県保険者協議会や保健事業支援・評価委員会における各保険者への技術的支援 医療費分析結果を見える化し、報告書として市町保険者に情報提供 「県版保険者努力支援制度」による市町国保保険者への支援					
	【課題】 特定健診の実施率向上に向けた取組の強化 限られたマンパワーの中で効果的・効率的な事業を展開するための方策の検討					
次年度以降の 改善について	保険者協議会の活動を通じた保険者へのさらなる支援 レセプトデータ等の分析による市町保健事業の効果的な実施に向けたさらなる支援					

出典 : 「特定健康診査・特定保健指導に関するデータ」

②特定保健指導の実施率に関する数値目標

○栃木県の目標《 特定保健指導実施率 》

2017年度 (計画の足下値)	第3期計画期間					
	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度 (目標値)
22.5%	—	—	—	—	—	45%
〈以下、①の内容以外を記載〉						
2018年度の 取組・課題	【取組】 I C Tを活用した特定保健指導の推進の検討					
	【課題】 特定保健指導の実施率向上に向けた取組の強化					
次年度以降の 改善について	I C T活用特定保健指導モデル事業への参加保険者の拡大					

出典 : 「特定健康診査・特定保健指導に関するデータ」

③メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の減少率に関する数値目標

○栃木県の目標《 特定保健指導対象者の割合の減少率（平成20(2008)年度比）》

2017年度 (計画の足下値)	第3期計画期間					
	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度 (目標値)
12.0%	—	—	—	—	—	25%
〈以下、①②の内容以外を記載〉						
2018年度の 取組・課題	【取組】 市町や保険者、企業、団体等と連携した「健康長寿とちぎづくり県民運動」の展開 （身体を動かそうプロジェクト、食べて健康！プロジェクト、ヘルシーグルメ推進店等）					
	【課題】 働く世代や無関心層へのアプローチ					
次年度以降の 改善について	地域・職域連携推進事業を有効活用した職域へのアプローチ 保険者や企業と連携した健康経営認定制度やICTを活用した特定保健指導・とちまる健康ポイント事業の実施 等					

出典：厚生労働省保険局提供ツールより算出

④たばこ対策に関する目標

○栃木県の目標《 喫煙対策の推進 》

<p>目標</p>	<p>喫煙率や受動喫煙の機会を減少させるよう様々な喫煙対策に取り組む</p>
<p>2018年度の 取組・課題</p>	<p>【取組】</p> <p>受動喫煙防止に取り組む「とちぎ禁煙・分煙推進店」の登録拡大</p> <p>禁煙及び受動喫煙防止に向けた企業等への啓発活動や、小中高校への防煙教育の実施</p> <hr/> <p>【課題】</p> <p>受動喫煙防止に係る制度の更なる周知</p> <p>関係機関と連携した禁煙支援の取組の強化</p> <p>慢性閉塞性肺疾患（COPD）の予防に向けた普及啓発</p>
<p>次年度以降の 改善について</p>	<p>改正健康増進法の全面施行に向けた受動喫煙対策の推進</p> <p>企業と連携した制度周知、啓発活動</p>

⑤予防接種に関する目標

○栃木県の目標《 予防接種の接種率向上 》

目標	予防接種の接種率向上に向けた効果的な普及啓発に取り組む
2018年度の 取組・課題	<p>【取組】</p> <p>市町及び県医師会と連携した、定期予防接種相互乗り入れ事業の実施</p> <p>感染症の発生動向や予防対策について、県民への情報発信</p> <hr/> <p>【課題】</p> <p>接種率向上に向けたさらなる普及啓発の促進</p>
次年度以降の 改善について	感染症予防に関する普及啓発、要注意者に対する接種機会の確保など、市町の取組の支援

⑥生活習慣病等の重症化予防の推進に関する目標

○栃木県の目標《 かかりつけ医と連携した糖尿病重症化予防に取り組む保険者数 》

2017年度 (計画の足下値)	第3期計画期間					
	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度 (目標値)
31	30	—	—	—	—	保険者の 半数以上※
2018年度の 取組・課題	<p>【取組】</p> <p>県医師会、県保険者協議会との連携により策定した「栃木県糖尿病重症化予防プログラム」(以下、「プログラム」という。)に基づく、保険者への取組の支援</p> <p>プログラム対象者抽出ツールの作成</p> <p>専門家派遣による保健指導従事者向け講演会等の実施</p> <p>県医師会、県栄養士会との連携による糖尿病・慢性腎臓病に係る研修会の開催</p> <p>県保険者協議会や保健事業支援・評価委員会における各保険者への技術的支援</p> <p>「県版保険者努力支援制度」による市町国保保険者への支援</p>					
	<p>【課題】</p> <p>保健指導対象者に占める実施者の割合向上</p> <p>限られたマンパワーの中で効果的・効率的な事業を展開するための方策の検討</p> <p>医療関係機関間の治療連携の充実</p>					
次年度以降の 改善について	<p>保健指導をより効果的に実施するためのツールの改修等による保険者への取組の支援</p> <p>医療機関の治療連携体制の強化</p> <p>保健指導の強化に向けた専門家派遣や研修等による関係者の資質向上</p>					

※ 平成30(2018)年度の栃木県保険者協議会の構成保険者数は42

⑦その他予防・健康づくりの推進に関する目標

○栃木県の目標《 がん検診受診率 》

2017年度 (計画の足下値)	第3期計画期間					
	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度 (目標値)
胃がん 43.2% ※	/	—	/	/	—	50%
大腸がん 44.3% ※	/	—	/	/	—	50%
肺がん 51.9% ※	/	—	/	/	—	60%
乳がん 48.2% ※	/	—	/	/	—	60%
子宮頸がん 44.0% ※	/	—	/	/	—	60%
2018年度の 取組・課題	【取組】 市町等が実施するがん検診の実施状況の把握とその情報の提供 企業と連携したイベント開催やリーフレット配布等による県民への普及啓発 受診率向上及び精度管理に係る関係者向け研修会の開催 「県版保険者努力支援制度」による市町国保保険者への支援					
	【課題】 さらなる受診率（精密検査を含む）向上に向けた取組の促進					
次年度以降の 改善について	市町や検診実施機関、企業等と連携した受診率（精密検査を含む）向上に向けた取組の充実					

出典：「国民生活基礎調査」

※ 「国民生活基礎調査」による調査が3年毎であるため、計画の足下値に2016年度の値を記載。

○栃木県の目標《 高齢者の健康づくりの推進 》

目標	虚弱や要介護状態を予防するための健康づくりや介護予防に取り組む
2018年度の 取組・課題	<p>【取組】</p> <p>介護予防に関する取組を促進するため、介護予防リーダー連絡会やリハビリテーション専門職等研修会を開催</p> <p>地域ケア会議の機能強化を図るため、市町や職能団体と協力しながら、研修会や専門職等の派遣を実施</p> <p>ロコモティブシンドロームの予防対策の推進を図るため、ロコモアドバイザー養成講習会を開催</p> <p>オーラルフレイル普及啓発に係るリーフレットの作成及び周知啓発</p> <hr/> <p>【課題】</p> <p>市町の健康づくりや介護予防に関する取組の更なる充実</p> <p>健康寿命の延伸を目指し、高齢者に対する保健事業の強化促進</p> <p>高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施</p>
次年度以降の 改善について	<p>健康寿命の延伸を目指したフレイルやロコモティブシンドロームの予防の強化</p> <p>市町の健康づくりや介護予防に従事する職員の人材育成や、データ分析や資料の提供などによる技術的な支援</p> <p>さらなるリハビリテーション専門職等の活用や、自立支援に向けた地域ケア会議の普及展開</p> <p>高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施に係る関係者との連携と取組の検討</p>

○栃木県の目標《 食生活の改善や運動習慣の定着 》

<p>目標</p>	<p>健康長寿とちぎづくり県民運動等により、食生活の改善や運動習慣の定着の促進に取り組む</p>
<p>2018年度の 取組・課題</p>	<p>【取組】</p> <p>関係者と連携した健康長寿とちぎづくり県民運動におけるとちぎ健康フェスタの開催や各種プロジェクトの推進 （「栃木県脳卒中啓発プロジェクト」、「身体を動かそうプロジェクト」、「食べて健康！プロジェクト」）</p> <p>働く世代の生活習慣病対策のため、ICTを活用した特定保健指導の実施の検討</p> <p>「健康長寿とちぎWEB」を活用した県民への健康情報の発信</p> <hr/> <p>【課題】</p> <p>働く世代の食事や運動等の生活習慣病の改善</p> <p>市町の健康づくりに関する取組の更なる充実</p>
<p>次年度以降の 改善について</p>	<p>市町の健康づくりや介護予防に従事する職員の人材育成や、データ分析や資料の提供などによる技術的な支援</p> <p>働く世代の食生活改善のため、「食べて健康！プロジェクト」の取組を強化</p> <p>「とちまる健康ポイント事業」や「ウォークビズ推進事業」による身体活動量増加の取組</p> <p>健康経営の促進など、企業や保険者と連携した健康づくりの推進</p> <p>「人生100年フレイル予防プロジェクト」を設置し、低栄養・フレイル予防の啓発</p>

(2) 医療の効率的な提供の推進に関する目標

①後発医薬品の使用促進に関する数値目標

○栃木県の目標《 後発医薬品の使用割合（数量シェア） 》

2017年度 (計画の足下値)	第3期計画期間					
	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2020年9月 (目標値)
73.9% ^{注1}	78.8%	—	—	—	—	80%
参考値 ^{注2} 70.2%	74.9%	—	—	—	—	—
2018年度の 取組・課題	<p>【取組】</p> <p>県医師会、県薬剤師会等関係者とのさらなる安心使用の促進に向けた取組の協議のため、後発医薬品安心使用促進協議会を開催</p> <p>広域病院等後発医薬品採用リストの作成</p> <p>後発医薬品の使用割合の高い又は低い地域における医療機関等への意識調査の実施</p> <p>県薬剤師会等関係団体と連携した県民への後発医薬品の知識に関する普及啓発</p> <p>県保険者協議会と連携し、後発医薬品の使用促進に向けた取組状況を市町保険者に情報提供</p> <p>「県版保険者努力支援制度」による市町国保保険者への支援</p>					
	<p>【課題】</p> <p>後発医薬品の一層の理解の促進や効果的な取組に向けた検討</p> <p>後発医薬品の使用状況（保険者別、地域別、年齢階層別等）に係る要因分析</p>					
次年度以降の 改善について	<p>県保険者協議会等と連携し、保険者による好事例の横展開とNDB等を活用した後発医薬品の使用状況分析の実施</p> <p>レセプトデータ等を活用したこども医療費等に係る後発医薬品の使用状況分析の実施</p>					

注1 : 「調剤医療費の動向」による各年度末の値。

注2 : 厚生労働省提供のNDBデータによる各年度末の値。(対象レセプト: 医科(入院、入院外)・調剤 等)

②医薬品の適正使用の推進に関する目標

○栃木県の目標《 医薬品の適正使用の推進 》

<p>目標</p>	<p>医薬品の適正使用について、患者や医療従事者に対する普及啓発、保険者による取組の推進</p>
<p>2018年度の 取組・課題</p>	<p>【取組】</p> <p>モデル市町における重複・頻回受診者及び重複・多剤服薬者等に対する保健指導事業</p> <p>県薬剤師会等関係団体と連携した医薬品適正使用やかかりつけ薬剤師・薬局推進の県民への普及啓発</p> <p>「県版保険者努力支援制度」による市町国保保険者への支援</p> <hr/> <p>【課題】</p> <p>重複・多剤服薬者等の要因分析や指導体制の整備</p>
<p>次年度以降の 改善について</p>	<p>重複・多剤服薬者等への保健指導推進事業の実施における手引書の作成</p> <p>県薬剤師会や保険者である広域連合と連携した高齢者の医薬品の適正使用の推進</p>

③その他の医療の効率的な提供の推進に係る目標

○栃木県の目標《 地域医療構想の推進 》

<p>目標</p>	<p>病床機能の分化及び連携、地域における医療・介護の体制整備の推進</p>
<p>2018年度の 取組・課題</p>	<p>【取組】</p> <p>県内6区域において、保険者等、医療機関その他の関係者等が参加する「地域医療構想調整会議」を開催</p> <p>在宅医療提供体制の充実を図るため、保険者等関係団体相互の連携体制の構築等を協議する栃木県在宅医療推進協議会を開催</p> <p>能力及び技術の向上、関係機関との連携強化を図るため、地域包括支援センター職員を対象とした研修会を実施</p> <hr/> <p>【課題】</p> <p>医療機関の機能の分化と連携の推進に向けて、関係者間の協議や情報共有を進めるための取組の検討</p> <p>在宅医療に関する理解の更なる促進、県保健医療計画の中間見直しに向けた準備及び市町における在宅医療・介護連携の推進に向けた支援の充実</p>
<p>次年度以降の 改善について</p>	<p>医療機関の機能の分化と連携の推進に向けたさらなる取組の強化</p> <p>ACPに関する県民啓発の推進、在宅医療の実態把握のための調査の実施及び地域包括ケアシステム構築状況調査や市町ヒアリングを活用した市町の現状・課題の把握</p>